



# 仙台市の取り組みについて

## 適応指導教室と学校とをつなぐ遠隔教育



学校数

**200校** (国立, 私立, 分校を含む)

児童生徒数

**8万668人**

仙台市統計書 (平成30年版) より

# 年々増加傾向

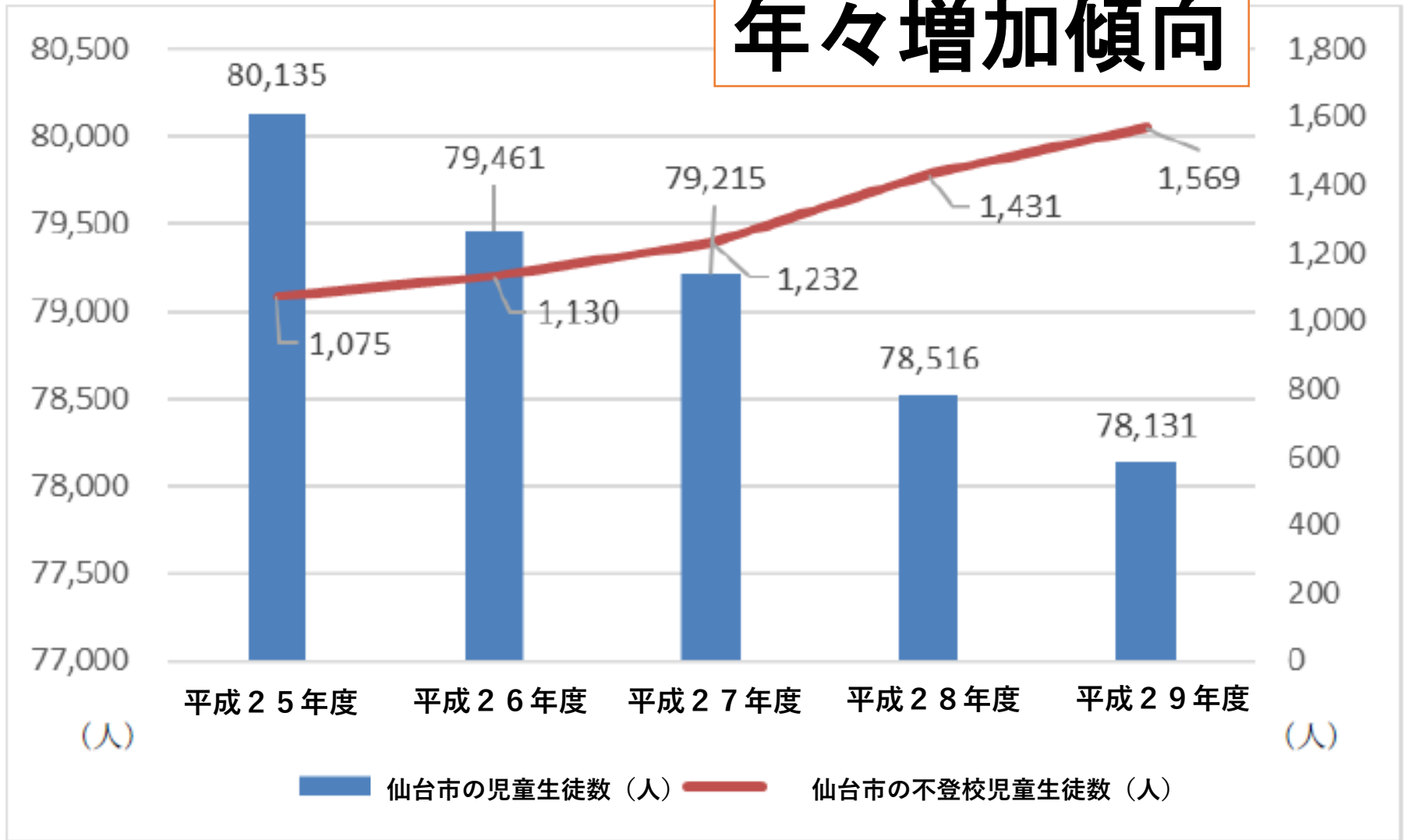
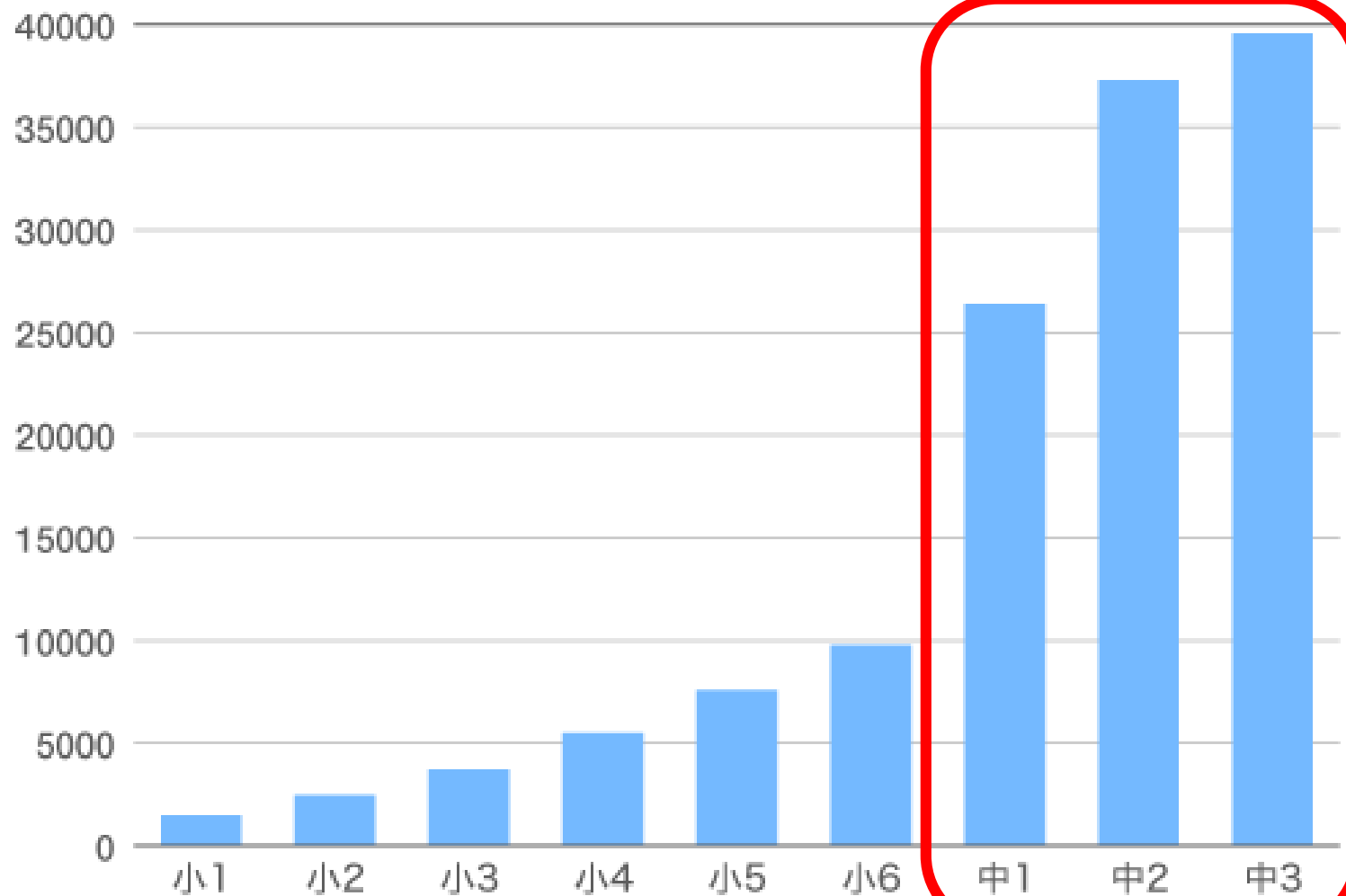


図1 本市の不登校児童生徒数の推移

# 学年別不登校児童生徒数

(人)

中学校になると不登校が増える傾向



文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」を基に編集部作成

# 適応指導教室 = 教育支援センター

毎年200名前後の児童生徒を

約50名のスタッフで支援

適応指導センター 「児遊の杜」

適応指導教室 「杜のひろば」

センター数 **1カ所**

教室数 **7カ所**

# 不登校児童生徒を支援する様々な活動例

## 個別対応

集団での活動が苦手な子供たちと1対1で話をしたり、学習したりしながら、不登校児童生徒を支援します。

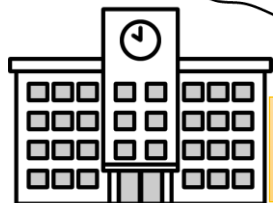
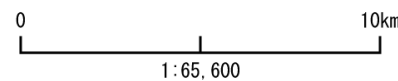
## 小集団対応

小集団での活動が可能な子供たちを対象に自立を促しながら、不登校児童生徒を支援します。

遠隔教育は、学習支援の効果的な手段の一つになる可能性

- 遠隔で接続することで、  
本籍学校と同じような学習経験ができること
- 遠隔で接続することで、  
簡単に学校との「つながり」を持つこと

宮城県仙台市



中学校

青葉区

泉区

約13km



適応指導教室

太白区

宮城野区

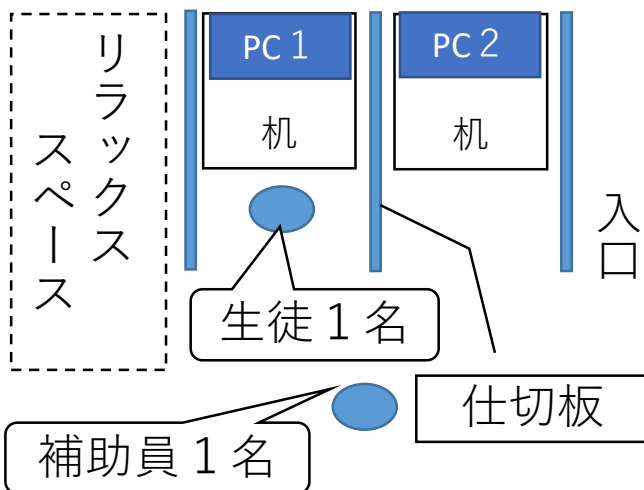
若林区

# 地理的な概要

# 教室の配置図

## 適応指導教室

教室写真



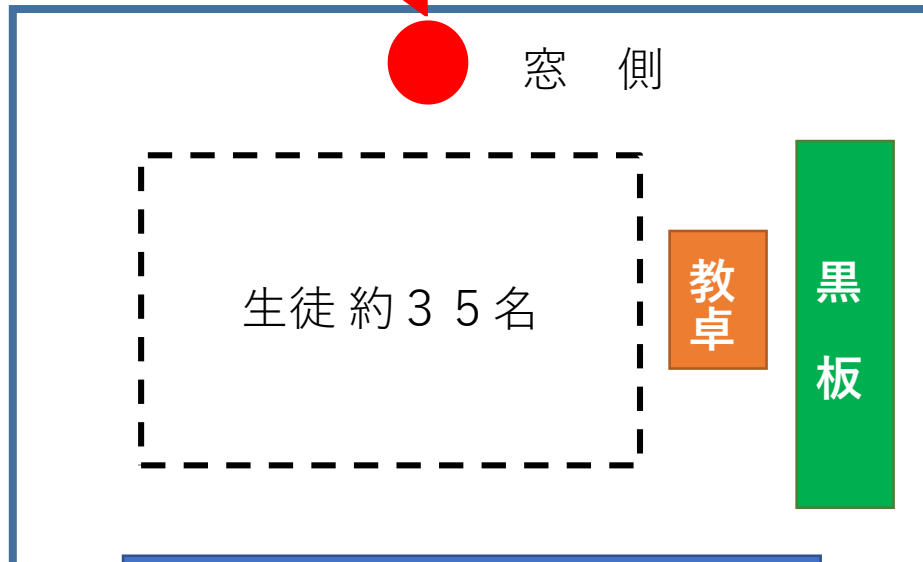
教室配置図 (上)

## 市内中学校

教室写真



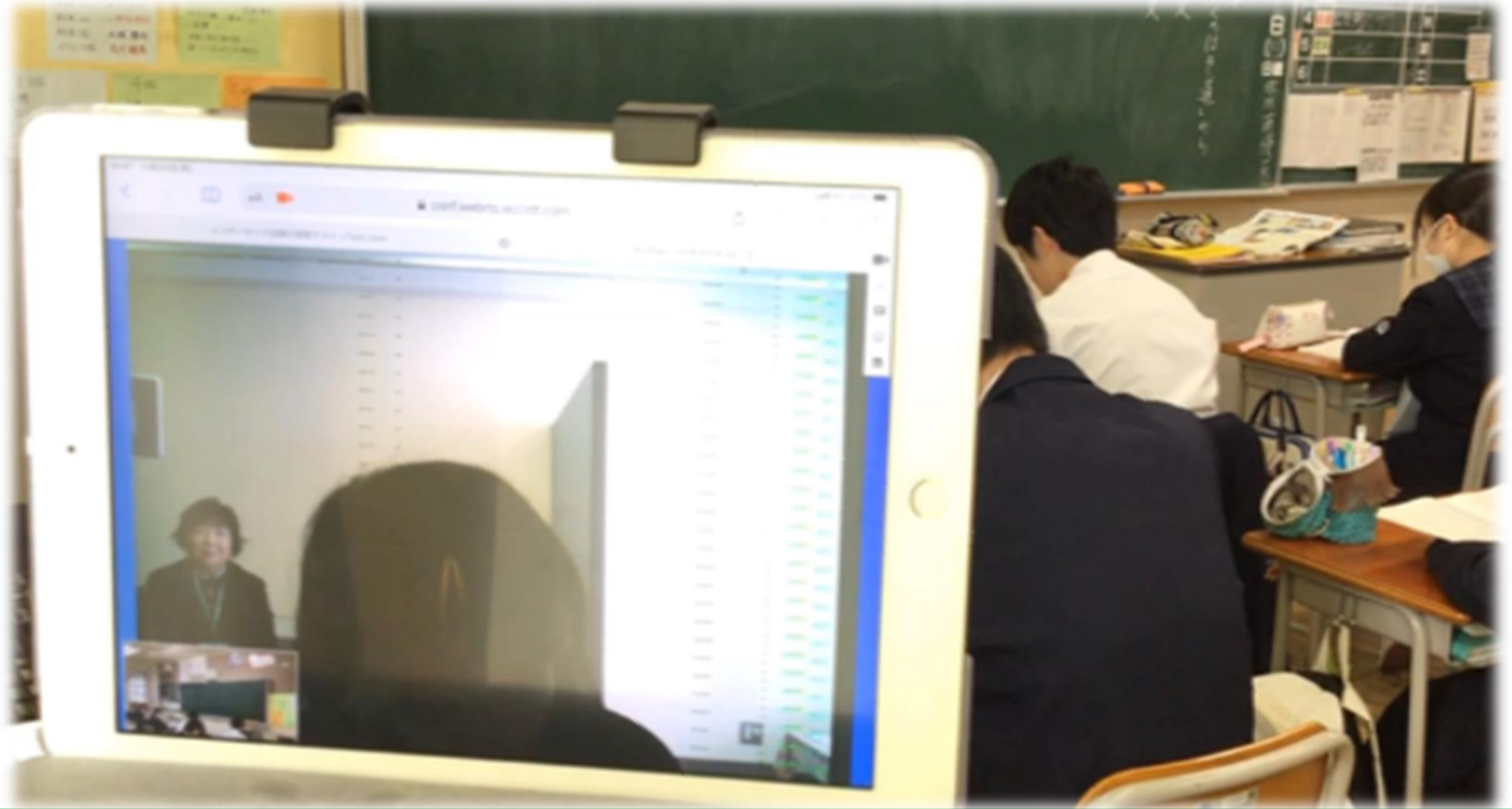
iPad 1 台 + 三脚



教室配置図 (上)



# 遠隔授業中の生徒の様子



授業中，一緒に音読する場面

「授業の様子が分かったので，よかった」



# それぞれの実践後の感想



学校側

「**思っていたより手軽に**できたので、  
今後も子供の様子を見ながら**継続して**いきたい」

「画面を通しての**間接的な指導**でしたが、  
**生徒は戸惑うことなく学習**できていた。」

「**学校とのつながり**を  
手軽に持つ手段として**有効だ**と思う。」



適応指導教室側

○ 遠隔で接続することで、  
本籍学校と**同じような学習経験**ができた

○ 遠隔で接続することで、  
簡単に**学校との「つながり」**を持てた

## 配慮事項

- 児童生徒の安心感を確保すること  
(自分の映像や音声のON,OFF機能を伝える)
- 学校側の操作スキルへの抵抗をなくす  
→ 簡便なシステムを使用する。

### ※今回使用したシステム 「Skyway」

- ・ 部屋名を合わせるだけで接続可能,
- ・ ブラウザベースで  
インストールが不要で簡単

## スカイウェイ会議

Webブラウザでのビデオ会議

部屋ID room-name

客室タイプ  sfu  メツシュ

部屋を作る